



## あなたの手から始まる救命

市消防本部  
☎ 530123

昨年開催された「愛・地球博」の期間中、会場内で突然心肺停止となり倒れてしまった人に、素早いAED（自動体外式除細動器）による応急手当が実施され、大切な命が救われたという救命のドラマがあったことを皆さんご存じでしょうか。

六月一日、開場間もない午前九時十二分、パビリオンへの入場を待つ長い列の中にいた四十一歳の男性が突然心肺停止となり倒れました。辺りが騒然となる中、素早く行動を起こした数人の来場客の手により、AEDで電気ショックが与えられました。すると止まっていた心臓が再び動き始め、男性は一命を取り留めたのです。この男性は、ご自身の体験を振り返り、「もしもあのとき、応急手当をしてくれた人がいなかったら、AEDがなかったら...。今、私は生きてはいないでしょう。大切な命を救っていただけたことを奇跡のように感じています。今後はできるだけ多くの方々に心臓マッサージやAEDの操作法を知ってもらい、誰

もが奇跡（救命）を得られるようになることを希望します」と語られ、その後、見事に社会復帰を果たし応急手当普及のためのボランティア活動にも自ら取り組まれています。

毎年、本市でも年間約九十人の方が突然心肺停止となり、救急車で運ばれています。あなたの目の前で大切な家族が突然倒れる！ということ、もう人ごとではないのです。こんなとき、あなたは何かができますか。心肺停止となった場合、時間がたつにつれ命の助かる可能性が低くなるのですが、医学的にも明らかにされています。大切な命を救うためには、その場に居合わせた人による一刻も早い心臓マッサージやAEDなどの応急手当が必要なのです。もしも大切な家族が倒れてしまったら救急車を呼んだ後、なんとしてもあなたの手で応急手当を始めていただきたいのです。大切な命を守るため、あなたの手から救命が始まることを忘れないでください。

## ペットランド

ようこそ

第16回



今月のペット

猪野三郎さん宅（泉町）  
ポチくん  
おかめインコ・オス12歳



ボクの名前は、ポチ。犬でもないのにポチ。ご主人が犬を飼いたいこともあって命名したらしい。

そんなご主人も、ボクにとっては恋敵。奥さんは、ボクにとっていとしき人。ご主人と奥さんが仲良くするものなら、やきもちの焼きっぱなし。それが面白くなくて家出をしたことも数回。そのときご主人が「ポチ、ポチ」といって探していたら、どんな犬ですかっで聞かれたそうで、笑っちゃいますよね。これからも、ご主人公認の三角関係を続けていきたいと思います。

## 獣医さんからのひとことアドバイス

陶の里動物病院 富田幸伸先生



～オカメに煎り大豆はいいけど納豆は...～

日本において穀物食の飼鳥の食餌といえ、昔からシード（種子）が一般的ですが、このシードには問題点があります。

①好きな種類の種子（特に脂肪分の多いカナリーシード）だけ食べることにより、栄養バランスが崩れる ②健康維持に不可欠なビタミン（特にビタミンA）およびミネラル（カルシウムやヨード）が絶対的に不足している など

その為、ほかの種子や種実を加え（粉碎した煎り大豆も良い）、バラエティー豊かにし、青菜やボレー粉を与えて不足する栄養素を摂取させる必要があります。また、ペレット（固形飼料）の利用も有効です。

